

令和4年度（2022年度）第4回三者懇談会（吹田市立岸部保育園）

- 1 開催日時 令和4年7月2日（土） 午後6時～午後7時
- 2 開催場所 岸部保育園 遊戯室
- 3 出席者 岸部保育園父母の会会長及び副会長、その他保護者6名
社会福祉法人あおば福祉会（常任理事、合同保育職員3名（園長予定者、主任予定者、保育士代表）
吹田市児童部職員（児童部次長、子育て政策室参事、保育幼稚園室参事、岸部保育園長、子育て政策室主幹、岸部保育園長代理、子育て政策室主査、子育て政策室主任、岸部保育園保育教諭）
(Zoom で参加した保護者7名)
- 4 議 題
 - 1 合同保育の報告
 - 2 あおば福祉会からの提案
 - 3 引継状況
 - 4 質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第4回三者懇談会を開会いたします。
開会に当たりまして、児童部次長から御挨拶申し上げます。

児童部次長： 岸部保育園の三者懇談会の開会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。
本年4月から合同保育がスタートして、3ヶ月が経過いたしました。保育について一定の引継ぎが進んでいると認識しております。
今回の三者懇談会では、合同保育での引継ぎの進捗状況や、あおば福祉会からの御提案について、三者で協議ができればと考えております。
御意見や御質問について、細かいことでも結構ですので、三者で共有させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

吹田市： 次に、資料の確認をさせていただきます。

（資料の確認）

吹田市： 出席者の御紹介をさせていただきます。

まず、移管先事業者である社会福祉法人あおば福祉会の皆様を御紹介いたします。

あおば福祉会： 民営化に向けた引継ぎが始まりまして、初めての三者懇談会となります。

約3ヶ月が過ぎましたけれども、お気付きの点や気になったことで、もっとこうしていきたいということをと共に考え合って、この1年間をかけて、皆様と共有させていただきたいと思っております。

何よりも子どもたちの幸せを願う保護者の皆様、保育園の運営に当たる法人、岸部保育園の先生方をはじめとする行政、この3者がしっかりと手を結びながら意見を交わし合って、子どもたちの幸せにつなげていきたいと思っておりますので、話し合う場が一番大切であると思っております。

引き続き、子どもたちの幸せを願いながら、三者懇談会もより良いものにしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

吹田市： （出席者紹介）

2 合同保育の報告

吹田市： 岸部保育園では令和4年4月から合同保育が始まっており、実際にあおば福祉会の職員の方々にお越しいただき、引継ぎを進めております。岸部保育園長から状況について報告させていただきます。

吹田市： （岸部保育園長）3ヶ月間の合同保育についてお伝えしたいと思います。この1年間の合同保育には、ねらいを四つ挙げていますので、ねらいに沿って説明させていただきます。

まず一つ目は、職員が合同で保育を実施することで、児童状況、保育内容を把握するという事です。こちらについては、4月から小澤先生に0・1・2歳クラス、酒井先生に3・4・5歳クラスに入っていていただいて、子供たちと一緒に過ごしてもらうことで、それぞれの子供たちの様子を知り、クラス保育の中で大切にしていることなども日々お伝えしてきています。また、行事は、コロナ禍以前の行事の取組はできていないですが、園長予定者の中村先生にも来ていただき、今できる形での行事ということで、主に誕生会とか、子供の日の集い、虫歯予防などで保育に参加していただきながら、引継ぎをしているところです。

二つ目は、各クラスの子供の育ちを理解するという事。三つ目は、各クラスで大切にしていることや、子供との関わり、保育内容を共有することです。各クラスのクラス会議、毎月のカリキュラム会議にも出席していただいて、子供の姿を共有

しています。今年度は、身体づくりに取り組んでいて、先月は実践会議を持って、学習も一緒に積み重ねています。毎月、2回程度ですが、振り返り会議も行って、一緒に保育している中で、クラス保育のことや、行事とか、全体のこととか、お互いに伝えたいことや確認したいことを出し合って、共通認識を持つようになっています。

四つ目は、子供や保護者との関係を築くということで、子供たちとこの3ヶ月間で本当にしっかり関係を築いていただけていると思っています。6月28日で全クラスのクラス懇談会が終わりました。小澤先生には乳児クラス、酒井先生には幼児クラス、各3クラスの懇談会に参加していただいて、保護者の方にも顔合わせをしていただいて、知っていただく機会が持てたと思っています。先日の振り返り会議の中でも、今後、朝夕の当番体制にどのように入っていくかということで、相談もさせてもらっていますので、これからもっと保護者の方と顔を合わせる機会が増えていくのではないかなと思っています。

今後は対外的な部分で地域事業や、運動会、生活発表会というような大きな行事がありますので、一つずつ丁寧に確認し合いながら、引き継いでいきたいと思っています。

吹田市： 本日は、現在岸部保育園で合同保育を行っている、あおば福祉会の職員の方にも参加していただいていますので、実際に合同保育を行って感じられたことや今後の課題などがあればお話ししたいと思っています。

あおば福祉会：（中村園長予定者）この3ヶ月、行事を中心に保育に入らせていただきました。その中で、伝承文化について、先生方が子どもにとっても分かりやすいお話をされていて、教材もしっかりと準備している様子を見て、そういったところも引き継ぎながら、同じ行事を引き継いで、子どもたちの変化が、本当に大きくないように保育内容を引き継いでいきたいと思っています。

また、れんげ摘みとか、地域に関わる行事にも参加させていただいて、地域の方の畑で自然と関わるなど、すごく貴重な経験をさせていただいていますので、そういった関係性もしっかりと引き継ぎたいと思っています。

あと、園外保育の引率も行かせていただいて、道路の危険箇所であるとか、避難訓練では避難経路などもしっかりと伝えていただいているので、そういったところをしっかりと引き継いでいきたいと思っています。

行事については、先日、5歳児のデイキャンプがありまして、子どもたちの思い出に残る1日だったと思っています。昨日も一緒にバスで七夕の飾り付けに行きましたが、その時のお願いごとでも、ピーターパンにまた会えますようにということなど、そういったお願いがたくさん出てきて、子どもたちにとってすごく楽しい

1日だったと感じました。

先生方はどのクラスとも関わりながら準備をされていました。当日も子どもと先生が関わりながら1日をつくられているのを見ました。子どもたちをたくさんの大人が見守っていくといった、岸部保育園で大切にされていることも、しっかりと引き継ぎながら、子どもたちが愛されているということ、そういう気持ちで満たされながら、今、生活していると思っておりますので、そういった点もしっかりと引き継いでいきたいと思っております。

あと、子どもたちとの関係づくりでは、夕方の保育に入らせていただいて、一緒に遊んだりとか、そういった時間を今後もたくさんつくっていきたいと思います。夕方であれば、保護者の方とお顔を合わせることもできますので、もう少し、お話する機会が増えていけばいいと思っております。そういうところを、今後、大事にしながら、合同保育に入らせていただきたいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

あおば福祉会：（酒井主任予定者）私は主に幼児クラスの方に入らせていただきました。

4月は3歳児、5月は4歳児、6月は5歳児の保育に入らせていただきました。今まで新型コロナの影響で、プール遊びなどのいろんな行事や、散歩もなかなか行くことができなかったというお話をお聞きしていましたが、4月になり状況も少し落ち着いてからは、散歩やいろんな行事を経験させてもらえて、すごくありがたいと思っています。

3歳児でしたら近くのどんぐり公園に、4歳児は吉志部神社に行きました。5歳児は明和池公園にも散歩に出かけたりしています。先ほどデイキャンプの話が出ましたが、私もずっと5歳児の保育に入らせていただいて、デイキャンプの取り組みをずっと見させてもらいました。スタンプの取り組みなんかも、各クラスの先生方がそこに関わったりしていて、ピーターパンの世界を先生たちがホールでつくって、制作物や遊びを工夫されていて、子どもたちがすごく生き生きしている姿を見て、本当にみんなで保育をつくっていくということが大事だと感じました。そういうこともやっぱり引き継ぎながらやっていきたいと思います。

保護者の方との関係では、自分の中で、お話しするということがまだできていないと思っておりますが、3歳児から5歳児の懇談会に参加させていただいたので、ちょっとずつ保護者の方のお顔やお名前と、お子さんが繋がってきていますので、当番保育も今後経験させていただいて、保護者の方ともお話をしたいと思っております。

あおば福祉会：（小澤保育士代表）私はこの3ヶ月間、4月は0歳児クラス、5月は1歳児クラス、6月は2歳児クラスに入らせていただいて、公立の先生方と一緒に保育を

させていただいて楽しくて、あっという間の3ヶ月でした。この3ヶ月間、子どもたち一人一人と関わらせていただいて、乳児クラスの39名の子どもたちと少しずつ、距離が縮まってきているのではないかなと思います。

0歳児のクラスでは、2回睡眠の生活リズムで過ごす様子を見させていただいたり、あと離乳食を食べている様子や、1回睡眠への移行のタイミングですとか、おまるに座り始める姿も見させていただきました。1歳児は、2回睡眠のお子さんが1回睡眠に移行するに当たって、全員が1回睡眠で過ごすという姿も見ることができました。

1歳児クラスのお子さんは友達に興味広がってきて、繋がって遊ぶ姿も見ることができました。その時期に保育参加がちょうどありまして、子どもたちの嬉しそうなお姿とか、あと、保育参加の内容がお散歩ということもあって、そのコースも実際に知ることができました。

2歳児クラスは子どもたちが身の回りのことを自分でしようとする姿が増えてきていると感じました。あと、製作については、みんなが興味を持って、絵の具を触ってフィンガーペインティングをしたり、昨日は折り紙を折って、のりを使って七夕の製作をする姿を見たりしました。他にもたくさんありますが、0歳児、1歳児、2歳児の子どもたちのいろいろな姿を見ることができました。

岸部保育園では園全体で、子どもたちにとってという視点で体づくりを大切に考えておられて、私たちも会議とか研修に参加させていただいたのですが、クラスの保育でも、その時期の子どもたちにとってという視点で体づくりを考えておられて、0歳児では触れ合い遊び、1歳児では大きな斜面を、体全体や足の指先を使って上り下りをしたり、2歳児では、転んでもしっかり手が着けるようにということで、2階に行くときは四つん這いで階段を上り下りする姿を見ました。あおば福祉会でも、体づくりは大切に考えているので引き続き一緒に学ばせていただきたいと思います。

3 あおば福祉会からの提案

吹田市： 参考資料1「写真販売についての御提案」について、あおば福祉会から御説明をお願いします。

あおば福祉会： 写真のインターネット販売の御提案についてパワーポイントを準備しました。今回、御提案をなぜするのかについては、私たちが来年4月から岸部保育園を引き継ぐということで、どうしても人が替わってしまうということがあると思っています。そういった中で、子どもたちのことをしっかり見ていきたいですし、保護者の方も、子どもたちがどんなふうに過ごしたのかということ、たくさん聞

きたいということがあると思います。

そういった時間をちゃんと作り出すことが大事だと思っておりますが、写真販売を園で受け持ってしまうと、どうしてもそこにたくさんの時間がかかってしまいます。今は、インターネット販売をたくさんの学校や保育園が取り入れているということもあるので、今回、岸部保育園でも御提案をさせていただきたいと思っております。

資料を見ていただいたら分かると思いますが、インターネット販売ではどうしても現状より値段が高くなってしまいうということがありますが、保護者の方が家でゆっくりと見ることができるというメリットがあります。

また、コロナ禍がどのように収束していくのか本当に読めない状況でもありませんし、保護者の方が順番を待って長い時間、保育園にとどまって写真を選ぶということになると、家に帰ってご飯の準備をしたいのに時間がかかってしまうといったことにもなります。インターネット販売だと、仕事の空き時間などでゆっくりと見ていただけることになって、利点になると思っておりますので、ぜひ、インターネット販売に変更させていただきたいと思っております。

価格は60円ということでお示ししていますが、これは他の施設の例をとって上げていまして、もう少し安いところがあるという情報もありますので、より安く利用できる場所を探していきたいと思っております。保護者の方が何か不便に思うようなことがあれば、その点についてもお声をお聞きしながら、どうしていいかということを決めていきたいと思っておりますので、ぜひ御検討いただきたいと思っております。

4 引継状況

吹田市： 参考資料2「岸部保育園の現状と引継ぎの状況（令和4年（2022年）7月2日）」を御覧ください。

前回の三者懇談会から本日までの間、あおば福祉会と岸部保育園では、2園会議などを開催しながら保育内容についての引継協議を進めてまいりました。現在の引継状況をお伝えいたします。

吹田市： 第1回三者懇談会を始める前に皆様方にアンケートを取らせていただいた中でも、保育内容や保育環境、保護者との関わりという項目について、非常に関心が高いという結果が出ていましたので、第2回三者懇談会の際にそういった部分の対応を一部、お示しさせていただきました。

今回は、令和3年度の内容を中心に記載していますが、合同保育が3ヶ月間進んでいる中で、令和4年度の現状については、コロナ禍でもありますので、通常時と

変わっているところも含めて引き継いでいます。そういった今年度の状況や今後の予定ということでお示しをさせていただいております。

ただ、大きな行事については、まだ行っていないこともありますので、そういったところが埋まれば、もう少しこの表も精査されて分かりやすくなると思います。

次回、次々回にもこの表をもう少し埋めていくような形で、具体的に、移管後にどのような形で運営されるのかということ、皆様に御理解いただき、安心していただけるような形でお示ししていきたいと思っています。

また、来年から民間に移管することになりますので、先ほどの写真販売も含めて、時代とともに変わっていくものもいろいろとあると思いますが、変わる点については、三者懇談会等で皆さんに御説明をさせていただいて、御理解を得ながら進めていくための資料になると思っています。

吹田市： 午睡用布団の扱いにつきましては変更の予定になっていますので、あおば福祉会から説明をお願いします。

あおば福祉会： 布団について、今現在、吹田市で購入をされて、園で貸し出しをしていると聞いております。

公立から民間に変わるということで、布団を準備することができるかなと思っております。吹田市の他の民営化園での対応もお聞きしながら、検討はしているところです。

現在の考えは、新しく園に入られる方につきましては、各自でお布団を準備していただきたいと思っております。なお現在、布団を使用されている在園児の方につきましては、吹田市から、布団は残していかれると聞いておりますので、そのまま使っていただくか、新たに布団を準備されるかといった対応にできたらいいということで検討しております。

この点に関しても、皆さんの御意見も聞きながら、決めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

5 質疑応答

吹田市： 先日、父母の会が行われたアンケートで出された御意見等がございましたので、御回答をさせていただきます。以前の三者懇談会などでも御質問をいただきました内容については、吹田市からまとめて回答させていただきます。

一つ目は、「現在、父母の会で防犯のためにカードホルダーの配布をしているが、来年度以降は、あおば福祉会で防犯上、保護者と分かるようなものを導入してほしい。父母会の負担を少なくしてほしい。」という御意見をいただいております。

こちらの御意見につきましては、箕面保育園では、保護者会で名札を用意していただいていると聞いています。また、職員も、保育に支障のない限りにおいて着用する予定であると聞いております。今後につきましては、父母の会と相談させていただきたいとお伺いしております。

次に、「民営化すると現在と変わる可能性があるのか。」ということと、「現状をそのまま引き継ぐのか。変わる点があれば教えてほしい。」ということです。

基本的には岸部保育園の現状を引き継ぐ予定である旨、以前の三者懇談会等で確認していますが、変更等の提案があれば、三者懇談会で随時、保護者の皆様に相談しながら同意を得て進めていきたいということで、あおば福祉会からもお話をいただいております。

次に、「建替えは予定していますか。」ということです。

現在、あおば福祉会が園舎の状況を建築士の方に確認してもらっている状況です。建替えの必要性については、今後判断していきたいと伺っております。

次に、「英語教育のための追加費用など、保育内容、保育料は変わりますか。」という御意見をいただいております。

保育内容は基本的には公立の内容を引き継いでいただく予定となっております。また、英語教育のための追加費用を徴収することは、予定していないと伺っております。

次に、「行事は変わりますか。」という御意見です。

基本的には公立のものを引き継ぐ予定ということで伺っております。変更等があるようでしたら三者懇談会で報告させていただきたいと聞いております。

次に、「先生方の給与が現在より下がることのないようにしてほしい。」という御意見です。希望としては現状とは変えずに引き継いでほしいということですが、こちらについては、あおば福祉会から回答をお願いしたいと思っております。

あおば福祉会：　　すごく先生方のことを思っておられる保護者の方がたくさんいるということで、すごく嬉しく思いながら聞いていました。今、岸部保育園で働いておられる先生方には、移管後も残ってほしいという思いを熱く語って、お願いしますということでお話をしております。

給与に関しても、法人としては最大限努力していこうということで、お話をしています。引き続き、残ってくださいという思いはお伝えして、それが実現されるように努めていきますので、保護者の皆様からも、ぜひお声掛けをして、残っていただけるように、一緒に働き掛けていただければ本当に嬉しいと思っております。

子どもたちや保護者の方も、知っている先生方がいるのといないのとでは、全然気持ちが変わると思いますので、ぜひ一緒にということで、よろしく申し上げます。

吹田市： 次に、「老朽化している設備や遊具などについて、民営化後は事業者の負担になるので、できるかぎり民営前に修繕してほしい。」という御意見です。

設備や遊具は、御指摘のとおり老朽化していますので、移管した後に、ただちに保育に支障が生じることをないよう可能な限り、担当の保育幼稚園室とも調整しまして、修繕等を行う予定としております。

次に、「保育園の特色として掲げることはありますか。」という御意見です。また、「課外教室や制服、体操服等について、現在の保育園と変更となる点はありますか。」ということです。

こちらにつきましても、あおば福祉会からお願いします。

あおば福祉会： あおば福祉会の特色ということですが、英語教室など、そういったものを取り入れることはありません。今の保育をそのままの形で引き継ぐという予定にしております。

あおば福祉会の特色については、岸部保育園と共通するところがたくさんあると思います。自然と関わりながら、子どもたちが豊かな経験を重ねて大きくなっていくことや、食を柱にということで、食を通して人がつながり合ったり、喜び合ったりすることを大事にしていきたいと思っています。岸部保育園でも、子どもたちが描いた絵や作品がたくさん飾られていて、子どもたちがどんな形でもいいと思うので、自分自身を表現するということも大事にしていきたいと思っています。

また、皆さんに見ていただけるように、箕面保育園の5周年の冊子などのいろいろな冊子を置いていただいていると思いますので、ちょっとめくっていただいたら、写真がたくさんあってイメージしやすいと思っています。

昨年度には、三者懇談会で、パワーポイントを使って法人紹介をさせていただきましたので、新しく入られた方は見ておられない方もいるのかなと思っておりますので、こういった形になるかというのはこれからですけれども、それも皆さんに見ていただけるような形にしたいと思っています。

吹田市： 次に、「卒園アルバムを父母の会ではなく、園でつくってもらえたら非常に助かります。良い思い出になると思います。」ということです。

こちらにつきましても、あおば福祉会からお願いいたします。

あおば福祉会： 卒園アルバムについては、今現在、保護者の方がどのように関わってつくっておられるのかということはまだお聞きしていないので、どれぐらい大変なのかということをお聞きさせていただく中で、どのような形で、一緒にやっていけるのかというようなところを検討していくことができればいいのかなと思ってお

ります。またお話を伺う時間をいただきたいと思います。

吹田市： 次に、最後の御意見です。「乳児がいるために、預け先がなく参加できません。リモートで一度参加しましたが、子どもの様子を見ながらなので、なかなか難しかった。」という御意見です。

現在、Zoomも利用して参加をお願いしておりますけれども、保護者の方の負担を軽減して、なるべくたくさんの方に参加していただけるような方法は、保護者の皆様のいろいろな御意見をいただきながら、引き続き検討して参りますので、よろしく願いいたします。

吹田市： それでは、御意見や御質問、御要望があればお受けいたします。

保護者： 今コロナ禍の中で、イベントやクラス参観など、全部一人で参加するようになっています。できれば家族、親族、叔父や祖父母も呼びたいと思っておりますが、今後、民営化された場合には、家族が呼べるような基準というものが、ちょっと変わることがあるのかと思ってお聞きします。

あおば福祉会： 今のコロナ禍で、いろんな行事に制約や限定があるので、子育てをしていますが、子育てをしているのかなと感じることがあると思います。喜びをおじいちゃんやおばあちゃんも含めて、分かち合いたいと思ってもできない現状があると思います。

自治体によっても若干考え方が違って、すごく制限が掛かって、絶対門の中に入れたら駄目ですよという自治体もあれば、もうそれは各園に任せますので自由にやってくださいというところもありますので、私たちはいろんな自治体で保育園を運営していますが、基本的には自治体が考えている、ここは最低限守ってくださいというところには合わせるようにしています。

法人の中の他市で運営している保育園では、マスクはもう全然していませんし、行事も普通に行っています。先日も、2泊3日の合宿にも行って参りましたし、保育参加をする時も、コロナ禍の時は食事はなしということにしておりましたが、食べることについて、子どもたちがどんなものを食べているのか見ただけでは分からないので、やっぱり食べていただくという取り組みも再開しております。

大人でしたら黙食が可能なので、一定の距離を取って食べるということも実現していますし、クラス懇談会も実施します。今の状況は、第6波から随分落ち着いた状況にはなっているので、できる限りのことは保護者と共有しながら進めさせていただきたいと思っています。例えば、屋外の運動会であれば、これぐらいの状況は可能ですよねということがあります。この2年間の状況は、本当に見えない中

で判断せざるを得なかったので、大きな規制があったと思いますけれども、随分と新型コロナの状況も見えてきましたので、屋外の取り組みについては、そのような方向性でいいのではないかと考えています。

子どもたちの育ちも踏まえた上で、協議をさせていただくことができればいいのではないかと思います。やっぱり心配される方もたくさんおられますので、例えば会社から、感染するようなことはやめてくださいと言われていた場合など、働く上でのいろんな背景もあると思います。それも踏まえた上で、やっぱり感染するのが怖いと思う人はちょっと遠慮していただいたりすることもあります。おじいちゃんでも、私はワクチン打っていますので大丈夫とおっしゃることもあると思うので、一定のところをみんなで議論することができればいいと思います。

今年度は吹田市の岸部保育園ですので、それは今の段階でやっていただいて、それを私たちは引き継がせていただきます。令和5年になってからは、また皆さんと一緒に考えさせていただけたらと思っています。

保護者： 今までにいろんな民営化を経験されてきたと思いますが、その中で、逆に変えた方がよかったなと思うところがあれば教えてください。

あおば福祉会： あおば福祉会は、これまでに3園の民営化を受託しております。変えた方がいいというのは基本的にはないです。今やっていることを誠実に引き継がせていただくことが、子どもたちにとっても矛盾なく、今まで過ごしていたとおりに過ごすことで安心感につながります。安心感における一番の変化は先生方で、正職の先生方は必ずいなくなりますが、吹田市の場合は、園長先生も残っていただけるし、看護師の先生も1ヶ月残っていただけるということで、いろんな工夫、配慮をいただいています。4月から引継ぎにもずっと来園させていただいているという意味では、全然違う状況であると思っていますので、民営化といっても比べようはちょっと違うと思っています。

私たちは、引継ぎはこうかなと思っていても、保護者の中にはこうしてほしいということで、例えば、先ほどあったように英語教育をやってほしいといったこともあります。そういったことは保育の考え方をみんなで話し合っ、私たちも、それは大事ですねということになれば変わるかもしれないし、やっぱり子どもは、その時にしっかりと遊ぶことが大切だということであれば、やっぱりこれまでどおりにさせていただこうということになります。そういったように、話し合いの下で進めていくということです。

今の子どもたちの育ちを見ると、岸部保育園でも体づくりを大切にしたいということで、なかなか体づくりは園だけではできないので、例えば、もっと散歩に行けるような工夫をしてくださいとか、こういう遊具を買ってもらえたら子どもた

ちの育ちにつながるのではないのでしょうかということで、そういったところも議論し合いながら、子どもの育ちを保障していくということです。ベースになることは、今、岸部保育園で丁寧に行われていることをそのまま引き継がせてもらいながら、工夫できる、改善できるということはしたらいいなと思っています。

あおば福祉会での保育は全然、各園で違います。歴史も地域性も違います。そこで保護者と私たち職員が共に考え合うということが、子どもたちにとって何より大切なのではないかなと思っています。変わるべきところは変わったらいいと思いますし、変えないところは変えないということで、貫くものが必要かなと思っています。

保護者： 先ほども、先生についての話があったのですが、来年度、先生方の体制はどれくらい固まっているのかお伺いします。あと、パートで今働いてくださっている先生がどの程度残ってくれるのか、その話し合いの状況がどんな状況なのかお聞きしたいと思います。あと、法人から異動されてくる先生がいらっしゃると思うのですが、どの程度決まっているのかということもお聞かせいただきたいと思っています。

また、先ほど合同保育の話をしてくださっていて、あおば福祉会の先生方が、合同保育、引継ぎの期間をととても大切にされているということがよく分かったので、すごく安心しています。ありがとうございます。

あおば福祉会： 今、引継ぎを通して職員さんとの関係づくりをしていますということは、私も報告を受けているところです。先ほども申しましたように、公立の正規職員の先生方は、来年度は引継ぎ保育として一定期間残っていただけるのですが、基本的には違うところに行かれるということがあります。あと、会計年度任用職員の先生方に今、法人としては面談をさせていただいたり、説明会をさせていただいたりしています。

給与を下げないよということもありまして、そこは同じようになるというか、会計年度任用職員さんに対しては正規職員に移行しませんかという働き掛けをさせていただいておりますので、正規職員になれば給与水準は上がるというような思いで声を掛けさせてもらっていますので、ぜひ、残っていただけたらと思っています。

あと、引継職員がどの程度決まっているのかということですが、前回は申しましたように8名から10名は、ある程度、形としてもう決まっています。ただ、この段階で名前を公表して入れ替わったら、入れ替わったじゃないかとお叱りを受けることもあるので、もう少しお時間はいただきたいなと思っています。法人全体としても採用試験を実施しておりまして、5月23日に第1回目の採用試験をしたのですが、4名、良い方に来ていただけるということも確定はしています。素敵な方で

すけれども、これは必ずしも岸部保育園に来るということではなくて、法人全体でバランスを取りたいと思っていますし、各施設の経験者に、岸部保育園に異動していただく上での補充要員ということにもなると思います。7月にもまた採用試験を実施して、9月ぐらいにもう1回していきたいと思っています。

岸部保育園の先生方に残っていただくことが、一番、子どもたちにとっても、保護者の皆さんにとっても大切なことだと思いますので、これは法人だけというよりも、保護者の皆さんや公立の先生方もバックアップしていただいているという報告は聞いておりますので、みんなで残っていただけるようにしていきたいと思っています。

あおば福祉会： どこまで働き掛けが進んでいるのかということについて、現在、会計年度任用職員の皆さんに対しては、説明会をして、法人として残ってほしいという思いであるとか、給与面であるとか、そういったところを御説明する機会をいただいています。その後、個人面談をしていく中で、しっかりと意向をお聞きして、早い段階で残ってくださるというようなところを決めていきたいと思っています。

子どもたちの思いに寄り添っていて、子どもたちは先生が大好きで周りに集まってくるような先生方だということに思っていますので、私たちも一緒に働きたいという思いを伝えております。そして、先ほど理事も申し上げたのですが、正規職員ということも検討していただいているのですが、あおば福祉会の保育というものが、どういうものなのかをイメージするには、保護者の方も見学に来てくださったのですが、職員の皆さんも見学に来たいということで、今、思いをお聞きしております。それを吹田市にもお伝えして、みんなでぜひ見学に行きましょうということで整えていただいておりますので、こういったことが繋がっていくようにしたいと思います。保護者の皆様も、どうぞよろしくお願ひいたします。

保護者： 先ほどお話をされていたことですが、パートの方で、岸部保育園で働かれている職員の方がどれぐらいいるのかということがちょっと分からないので、どれぐらいの先生が残る可能性があるのかということと、あと、子供にとっては先生が変わるということが一番大きいことだと思うので、次の4月までに、新しい先生たちがどれぐらい合同保育に入られるのかなということをお聞きしたいと思います。

吹田市： 短時間のパートの先生、フルタイムの先生、あと給食の先生がいて、全員で26名だったと思います。朝・夕のパートの先生はまだ今欠員が出ているので、本当であればもう少し配置をするべきところですが、今、朝・夕は8名のパートの先生がいます。フルタイムで働いていただいている先生は、今クラス担任として入っていただいている3名と、介助として幼児クラスに入っていただいている先

生が3名います。あと給食室の先生が2名います。あと、土曜日だけ来られている先生とか、月曜日だけの先生とか、週4日、午前中だけ来てもらっている先生が数名います。働き方がみんなそれぞれで異なっている状況です。

吹田市： 人数については園長からお話をさせていただきまして、公立の場合は会計年度任用職員、いわゆる非常勤の職員につきましては、勤務時間が短い職員が多くいますので人数的には結構多くなっています。

今後、移管した際、正職の先生方と非常勤の先生方とで、どういうふうにローテーションを組まれるかということで、その比率とか配置は少し変わるところはあると思いますので、人数として非常勤の先生方だけで、割合がどのぐらい移っていくかをお話するのは少し難しいと思います。

公立の職員も説明会に参加させていただいていますので、それぞれ勤務時間を変えることができるのかということもありまして、その辺りは、あおば福祉会から条件面を御説明していただきながら、それぞれで検討しているという状況になると思います。人数をお知りになりたいということだとは思いますが、今、御説明を進めていただいているところということで、人数はもうしばらくお待ちいただければと思っています。

吹田市： 吹田市の引継職員のことで少し付け加えさせていただきます。

先ほど常任理事がおっしゃっていただいたように、園長等であるとか、保育教諭、看護師、用務員が令和5年度の引継職員として残らせていただくということはもう決まっております。期間は、保育教諭が3ヶ月と6ヶ月と決まっています。園長等につきましては、1年間の中で随時、園を訪れて引継ぎの状況を見に来させていただくということも決まっております。

ただ、今の時点で、どの職員が引継職員になるのかというのはまだ決まっておりませんので、今後、子供たちにとって、引継職員としてどういう形で残らせてもらうのがいいのかということも、しっかり岸部保育園の中でも話し合っ、3月頃の三者懇談会になると思うのですが、保護者の皆様にきちんと御説明して、御紹介させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

あおば福祉会： 今、岸部保育園は正規職員が19名いらっしゃって、あおば福祉会としましては正規の割合をもう少し高くしていきたいと思っています。この間、法人内の各施設の調査をしまして、計画の中では、正規職員7割に対して非正規職員3割ぐらいということを目指しながら運営をしています。

公立になりますと、5対5とか4対6とかといったことで、自治体によっても全然違ってきます。

できる限り正規職員の割合を高め、時差勤務を取りますので、保育時間が長いとなかなかお会いできない保護者の方とも、できる限りお会いできるような運営体制を目指していきたいと考えています。

まだ民営化が始まったわけではないので、今現在は7対3であっても、決して4月に7対3が実現できるかどうかかわからないのですが、いずれはそういう割合を目指したいと思っています。そのためにも、先ほど申したように、会計年度任用職員さんにつきましては正規職員への道も御検討いただきたいと思います。

保護者： 先生がもう一気に変わってしまうかなと思っていたのですが、可能性があるのでは、よかったかなと思います。

吹田市： 他に質問はありますか。Zoomでの参加の方はいかがですか。
なければ、終了時刻を過ぎましたので、本日はこれまでにしたいと思います。
最後にあおば福祉会から何かございますか。

あおば福祉会： 本日はお忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。
冒頭にも申しましたように、やっぱり何よりも子どものことを最優先に考え合える、この三者懇談会が一番大事な場であると思っています。今日もたくさんの御質問を出していただくことで、私たち法人としても、どういう方向性を目指していくのかということ、新たな覚悟と決意に繋がっていくのではないかなと思っています。

今、引継ぎが3ヶ月を過ぎましたけども、残り9ヶ月をより丁寧に過ごしていくということ、1月からは、さらに担任候補者が引継ぎに入ります。より丁寧な引継ぎに移っていくためにも、体制を整えることができるよう、また次回か次々回か分かりませんが、この人が来ますよということを早くお知らせして、顔が分かった関係が安心感に繋がっていくのではないかなと思っていますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

吹田市の皆様におかれましても、本当に御尽力いただき誠にありがとうございます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

吹田市： あおば福祉会から1点の御提案をいただきましたので、こちらについては今後、保護者の皆様でも、どういう形がいいのか御検討いただきたいと思います。後の三者懇談会などで御意見等もいただきながら、最終的にどうしていくのかということを決めていきたいと思っていますので、御検討をよろしくお願いいたします。

6 閉会

吹田市： 次回は、令和4年12月頃に開催し、1月からの合同保育職員の御紹介と合同保育の進捗状況についての報告等をさせていただきたいと考えておりますので、あおば福祉会と父母の会会長と調整させていただき、日程を報告させていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは、本日の三者懇談会を終了させていただきます。